

相原中学校だより

拓け 夢を
築け 人生の礎を

熟考力（しっかり考える） 実践力（思いや考えを行動に） 意志力（自分に負けない）

3年生の節目となる場の交流試合

校長 伊藤 隆一

「3密」を避けつつ教育活動を展開していくという難しい要請に、学校現場は苦しんでいます。ゼロリスクは困難と分かりつつも、子どものためにできるだけリスクを避けたい。「学びの保障」が求められ、学習進捗が気になります。でも、年間授業時数をこなし、教科書を教え込むだけでは、学びとは言えません。さまざまな矛盾を抱えた中で、各学校は今年度の教育活動を進めています。



部活動については7月より再開されましたが、現在もいろいろな制約のある中での活動です。その中で、8月下旬より「3年生の節目となる場の交流試合」が行われました。すでに学校ホームページでお伝えしましたが、本校の各部活動等生徒（陸上競技、バスケットボール、ハンドボール、野球、サッカー、ソフトテニス、バドミントン、卓球、柔道）は久しぶりの試合にそれぞれの思いを持って臨みました。さらに、吹奏楽部は校内で「3年生ファイナルコンサート」を実施しました。

私も副校長先生と分担をし、会場に駆けつけました。そこではいつもと少し違う雰囲気を感じました。例年、運動部は中学校体育連盟主催の総合体育大会が最後の場となります。相模原市大会から始まり、勝ち上がると県大会、関東大会、全国大会へとつながっていく唯一の公式戦です。上位大会を目指してきた3年生にとっては残念ですが、この状況の中、練習試合に近い形での「節目の場」となりました。各専門部の先生方は特別ルールでの試合、感染症対策の消毒や健康チェックなどに取り組みました。たくさんの人の努力で開催できたこの「節目となる場」を観戦・応援していて、何だか例年以上にすがすがしい気持ちになりました。それは出場した選手が皆、楽しそうに競技していたからです。もちろん、試合が終わった瞬間に泣き出してしまう選手もいました。でも、プレイ中の真剣な表情の中に楽しさの表情が垣間見られました。久しぶりに運動や演奏ができた喜び、仲間と一緒に競技する楽しさ、スポーツ本来の楽しさみたいなものを感じさせてくれました。この「節目となる場」は部活動のあり方に一石を投じる機会ともなったと思います。

さて、4月から半年が過ぎました。今、生徒にとって、特に3年生にとって大事な節目の時期です。自分の進路選択に向けての準備が本格化するとともに相原中学校のバトンをそろそろ後輩に託す時期、リレーのテイクオーバーゾーンにさしかかっています。部活動で、生徒会活動で、学校生活全体で。明日の優輝祭体育部門では3年生のかっこいい姿を後輩に焼き付けてください。あなた方の一生懸命に競技や応援に頑張る姿、黙々と係の仕事に取り組む姿により、5つの色が最後には1つの大きな塊となることを願っています。伝統はそうやって、先輩から後輩に受け継がれていきます。これからの半年、2年生が最上級生、1年生が先輩となる準備期間です。3年生はそんな後輩を支えてあげてください。



今年の優輝祭は一部の保護者の方にはしか公開できないのが残念ですが、相中生をこれからも保護者・地域の皆さまで温かく見守っていただくことを改めてお願い致します。

子どもの成長と課題の共有

～通知表の評価・評定と所見

●通知表の評価・評定

ご存知のように通知表の「評価・評定」は生徒を多方面からみています。決して、定期テストの結果だけでつけているわけではありません。例えば、数学の学力は、計算や文章題を解く力だけではありません。難しい計算であっても、今まで学習してきた考え方を使得って解けないだろうかと考えるプロセス（過程）が大切です。また、考えたことをどう表現するか、さらには数学に関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている態度を身につけているかどうかも大切です。

●観点別での単元評価

毎時間の学習のまとまりである単元にはねらい（目標）があります。このねらいをどれだけ達成したのか、どれだけ努力したのかを評価します。この評価は4つの観点「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」で行われます（国語は5観点）。これらの観点の達成度をみるために、様々な評価のための資料を記録します。小テスト、授業中の観察（授業での発表や実技）、ノートの記述、ワークシート・ワークブック等の取り組み、提出物やレポートそして定期テストの結果等、多岐にわたります。達成状況を正しく見取るために、先生方はたくさんの評価資料を集め、時間をかけて評価をつけています。



●観点別評価から評定へ

この様々な評価資料を総括し、それぞれの観点に対してA○、A、B、C○、Cと単元評価をつけます。この単元評価を学期ごとに総括した観点の評価が通知表に記載されます。最後に、学期ごとの観点別評価を点数化し、教科の評定（5、4、3、2、1）に総括します。

●通知表の所見欄

学級での様子、委員会活動や係活動での頑張り、学習への取り組み、部活動、清掃態度、総合的な学習の時間、行事への取り組み・・・。

担任の先生が今までの記録をもとに、子どもの一人ひとりの活動のエッセンスを記載しています。そこに書かれていることへの担任の先生の思いや期待を家庭でも受けとめていただき、ぜひ話題にしてください。



1日（木）第35回優輝祭体育部門	14日（水）生徒会代表議会
2日（金）最終下校17:00	16日（金）生徒会選挙立合演説会投票
3日（土）PTA本部会	20日（火）3年三者面談
6日（火）教育相談	21日（水）3年三者面談
生徒会キャンペーン ～12日	22日（木）3年三者面談
生徒会選挙政見放送 ～9日	23日（金）3年三者面談
7日（水）教育相談	2年進路学習会（生徒）
8日（木）教育相談	27日（火）3年学力テスト
9日（金）教育相談	28日（水）内科検診 1年4～5組男
13日（火）眼科検診（1年+抽出生徒）	2年男、あいはら級
生徒会専門委員会	29日（木）テスト4日前諸活動停止
朝の選挙運動 ～16日	